

令和3年度 番組審議会感想回答

(指定管理事業者：テレビやっしろ株)

■みんなに恩返しを77歳の決断「谷川石油店営業再開」

豪雨水害から1年9ヶ月が経ちます。その間ずっと、坂本町で取材を続けています。

日々、復旧・復興に向けて多くの人達が尽力していますが、まだまだ先は長くゴールが見えない状況です。そのような中、力が湧くような明るいニュースを伝えたいと奔走していたところ、被災した谷川石油店が再開したという話を耳にしました。

大きな覚悟を持って再スタートした谷川さんご夫婦を応援しなければ、また多くの人にお店が再開したことを知ってもらいたいと取材に動き始めました。

「坂本町での営業再開」それこそが被災した坂本町の明るい希望となり、地元の人々を元気付けられ、加えて少しずつ復興していく坂本町の姿を伝えられのでは、という思いで番組を制作しました。

いざ取材をしていくと前向きで温かいお人柄の谷川さんご夫婦に癒されると同時に、お二人の坂本町や住民を想う熱い気持ちに強く感銘を受けました。そして悩み抜いた末に前へと歩き出した人は何ごとにも負けない強さがあるなと感じました。

審議員の方々から谷川さんご夫婦に対して、心からの励ましや応援の声を頂き自分のことのように嬉しく思いました。

日々、手探りでの番組づくりではありますが、審議員の皆様の貴重なご意見は有難く、今後の番組制作の励みになりました。

坂本町を取材していると、多くの人達から「豪雨水害を風化させないで欲しい」、「他人事だと思わず被災した坂本町を知って欲しい」という声を耳にします。

発災直後からカメラを通して、現在までの坂本町を見続けてきた私にとって、坂本町のこれからは伝えることは使命であると思っています。

私も谷川さんご夫婦同様、坂本町に恩返しとして被災した方々の力となり背中を押せるよう、また皆さんと一緒に歩いていけるようなケーブルテレビを目指していきます。

これからも地域に密着した、親しみのある明るい番組づくりに邁進致します。

■上鎌瀬 総供養

撮影を通して坂本の催しを初めて知る事も多く、伝統、風習など坂本の明るい住民の方々のおかげで楽しく撮影、勉強させてもらっています。そのなかでも不思議な催しを知り、とても気になりまして撮影に行かせて頂きました。球磨川に近いからこそその河童伝説、今現在でもその河童の供養を住民の皆さんで繋げていくとても心が穏やかな催しを知ることができた撮影となりました。そのなかで過疎化や七月豪雨による総供養存続の危うさに縮小し行い続けていくという事で繋いでいく想いには感銘を受けました。番組をご覧になっていただいた視聴者の方々に上鎌瀬地区による命の大切さやその想いを世情にも負けず繋いでいく総供養を知っていただけたらと思いつながら番組作成をおこないました。審議会の皆様方の貴重なご意見ありがとうございました。これからも八代の歴史、伝統、風習などたくさんの世代に分かりやすく伝えられるよう皆様方の感想や指摘を真摯に受け止めこれからの番組作りに励みます。

■やっしろ弁わかるかいた？ 2022 年初詣編②

「やっしろ弁わかるかいた？」では昔から人々の生活に根付いた八代弁。今の若い人たちや新しく八代にやって来た人がわからない(わからなかった)八代弁。地域によって少し違う言葉などをインタビュー形式で聞きわかりやすくお届けする番組を目指しています。今後も町のご長寿や地域の「やっしろ弁マスター」を訪ねて昔から受けつがれてきたやっしろ弁を今の若い人たちや、やっしろ弁に触れて日が浅い他の地域から引っ越してきた方などに面白おかしくお伝えできればと思います。ご提案いただいたアドバイスを活かしより面白く、テレビの前での家族だんらんで会話や笑顔が弾むような番組作りに取り組んでいきます。今回ご指摘いただきましたマスクの不適切な着用について正しい情報を発信する側でありながら間違ったマスクの付け方をしていた事を深く反省しております。今後、このような事が無い様にスタッフ同士で注意し再発防止につなげてまいります。番組への貴重なアドバイスを活かして、より良い番組作りができればと思います。ありがとうございました。

■柚子園を永遠に・・梅川さんの取り組み

高校生が収穫を手伝うという話を聞きつけ、当初は手伝うことの意義などについて高校生目線の番組を制作するつもりでした。

しかし、現場で雇い主である梅川さんに聞き取り取材をすると本当に熱心な柚子園への想いを聞かせていただき、急きょ取材対象を梅川さんへシフトさせていただきました。このように1つのものごとの中にも、2つ3つと別角度のエピソードが潜んでいるということが分かり、「丁寧に取材する」ことの大切さを深く実感した梅川さんとの出会いでした。

普段の取材の中で、あの人物の言いたかったことはうまく表現できただろうかと自信を持ってないまま番組を完成させてしまうこともあります。今回、審議員の皆さまから「梅川さんを応援したい」「夢を感じます」などのご意見をいただき、少しでも梅川さんの想いを伝えることができたなら私にとって大きな成功体験です。

今後は取材で出会った方と多くのコミュニケーションを図り、多面的な魅力を伝えられるよう励みます。

最後に、ご意見の中にもあるように地域の情報をお持ちの方もいらっしゃると思います。どの地域の情報でもお寄せいただけますと大変ありがたく思います。

ご審議ありがとうございました。

■東陽中学校3年生 合格祈願門松づくり

番組に関する貴重なご意見ありがとうございます。

撮影をする場面が多い現場で1カメラですと、どうしても撮り逃してしまうシーンや場面が出て来ます。

これはケーブルテレビの特長かもしれませんが、撮れないからこそ

撮れなかった部分をフォロー出来る編集やナレーションに心掛けたいと思います。

昔からある伝統的な物を少しでも後世へ繋いで行くためには、

撮影して残して置くのは貴重な財産になるのかなと思いますので、

地域の方の取り組みや子どもたちの成長を今後も視聴者へ届けられるよう取材して参ります。

■自主制作番組に対する全体的なご意見に関しまして

委員の方々には、新型コロナウイルスによる自粛のなか審議をしていただき、多くのご意見を出して下さったことに心から感謝致します。

それぞれの番組に関しましてのご感想、内容などの課題に関しまして見直しを行います。

また、公共の場での番組放映やオンデマンドによる配信、番組発信方法については可能な限り検討して参ります。

新型コロナウイルスの影響による各種イベント自粛などの影響がまだまだありますが、地域に根ざした番組づくりを念頭に、ローカル局だから出来る部分に力を入れ、視聴者の皆様に喜んでもらえる番組づくりを目指します。